

4 基盤機能障害

(1) 交通・土木構造物

1) 道路被害

道路被害については、震度分布図および液状化危険度分布図との重ね合わせより、緊急輸送道路としての機能障害の可能性を評価している。

奈良県においては、観光、行楽シーズンに多くの方が県内各地を訪れており、地震の発生時期によっては、通常より多くの人々に影響が及ぶ可能性もある点に留意しておく必要がある。

ア) 道路被害の想定（内陸型地震：奈良盆地東縁断層帯）

①地震動

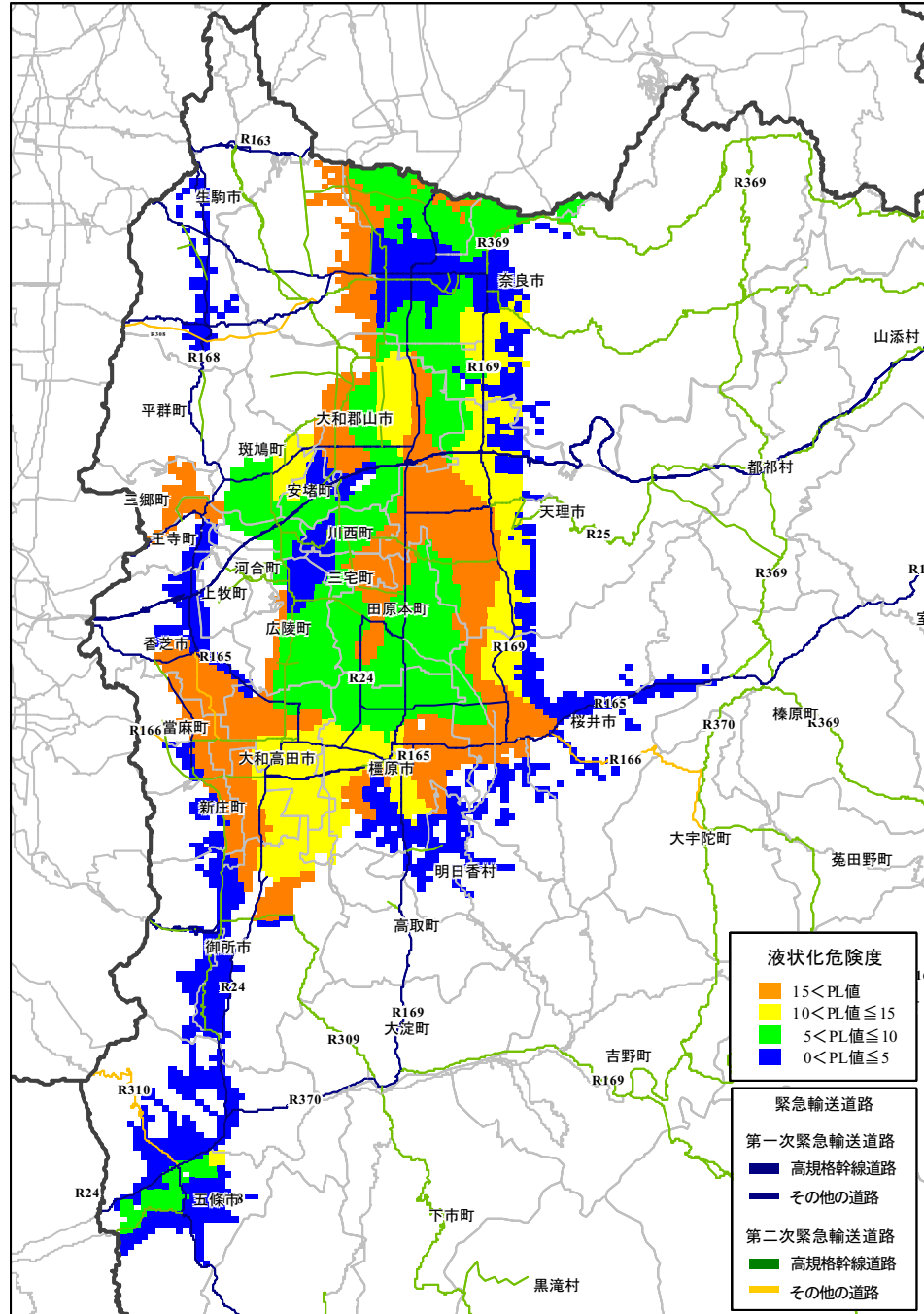
西名阪自動車道、第二阪奈道路、国道 24 号・25 号・165 号・166・169 号等については、震度 7 の地域を横断しており寸断される可能性が高い。

この地震により南部及び東部山間部も広い範囲で震度 6 強～5 強の地域が広がっており、直接の道路被害と同時に、崖崩れや落石などによる被害が想定される。これらの道路が寸断されると途中の地域が孤立化する。

②液状化

液状化危険度の高い（PL 値 15 超）地域を通る西名阪自動車道、阪奈道路、国道 24 号、25 号、165 号、166 号、169 号等において被害が発生する可能性が高い。

緊急輸送道路網と奈良盆地東縁断層帯の液状化危険度分布図



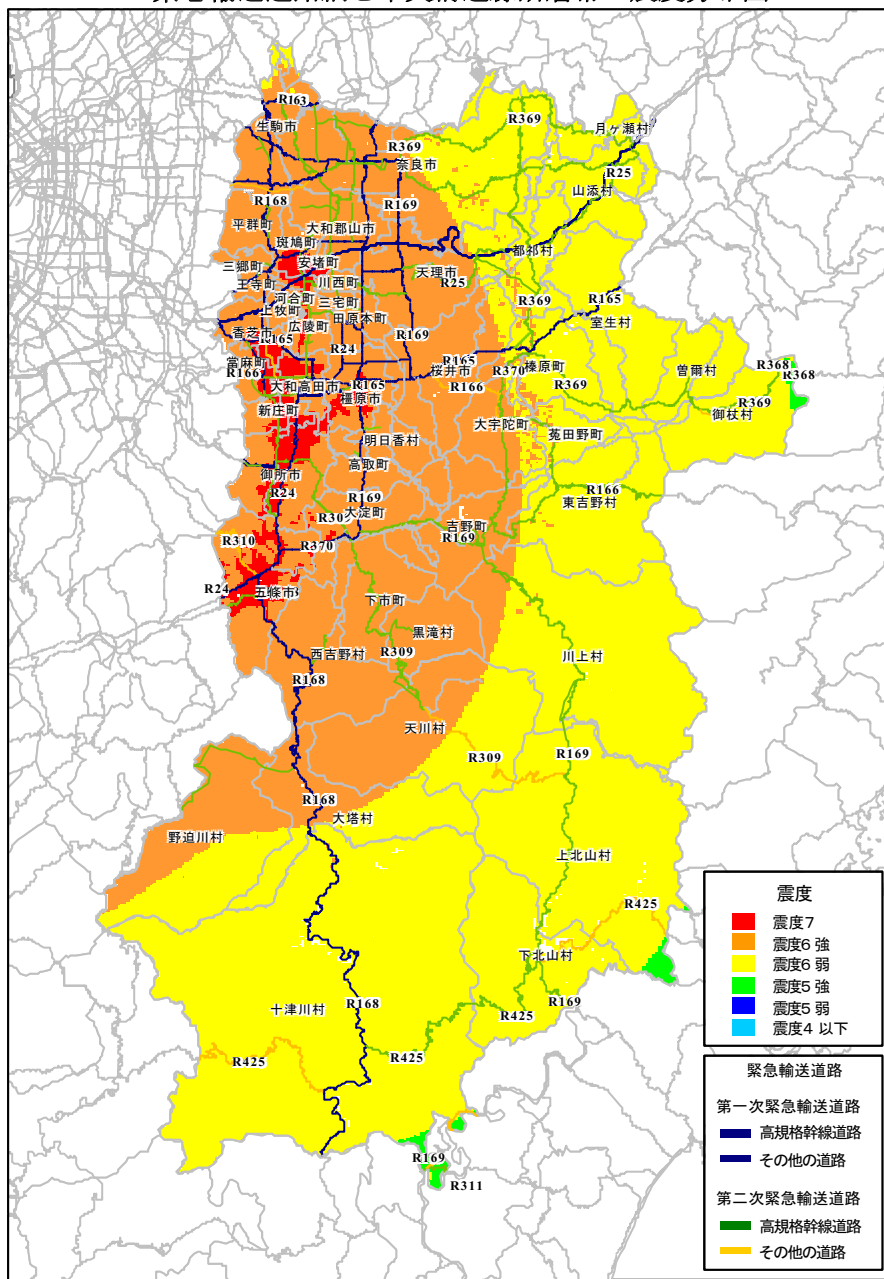
イ) 道路被害の想定 (内陸型地震：中央構造線断層帯)

①地震動

震度7の地域が国道24号線に沿って分布しているため、同国道は一次緊急輸送道路としての機能が麻痺する可能性が高い。また、西名阪自動車道、国道24号、25号、165号、166号、168号、310号線等については、震度7の地域を横断しており寸断される可能性が高い。

この地震により南部及び東部山間部も広い範囲で震度6強～6弱の地域が広がっており、直接の道路被害と同時に、崖崩れや落石などによる被害が想定される。これらの道路が寸断されると途中の地域が孤立化する。

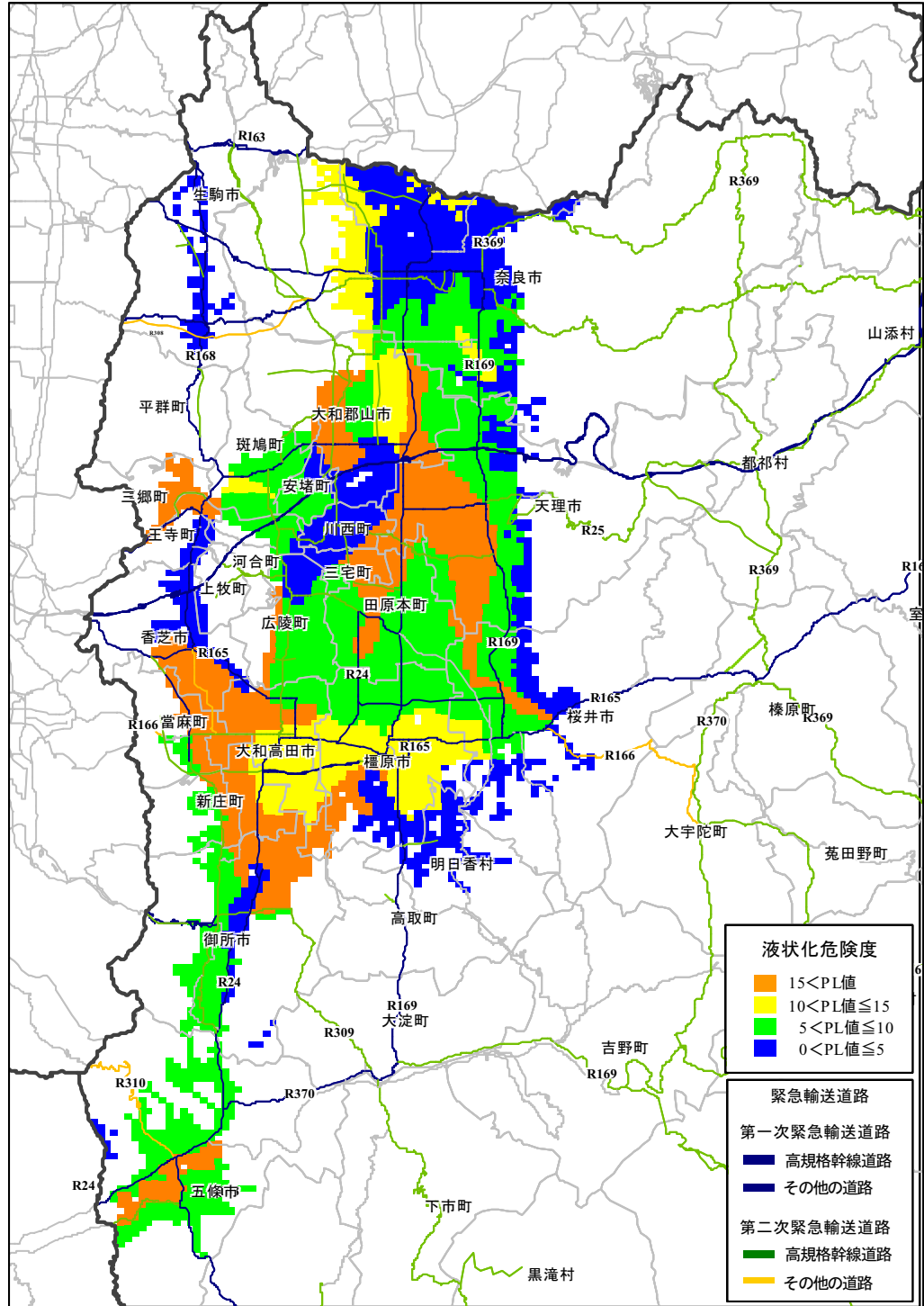
緊急輸送道路網と中央構造線断層帯の震度分布図



②液状化

液状化危険度の高い（PL 値 15 超）地域を通る西名阪自動車道、国道 24 号、25 号、165 号、166 号、168 号等において被害が発生する可能性が高い。

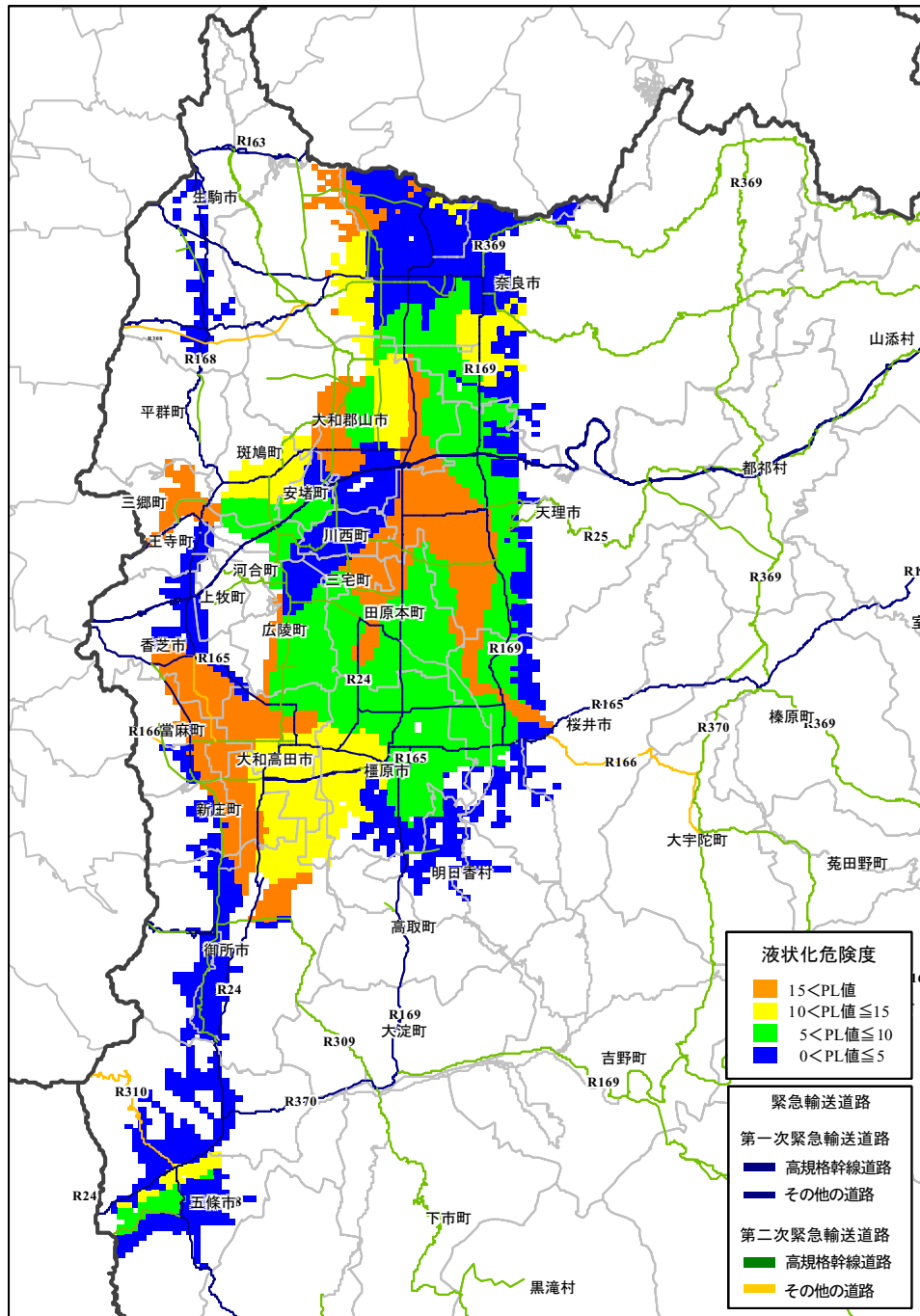
緊急輸送道路網と中央構造線断層帯の液状化危険度分布図



②液状化

液状化危険度の高い（PL 値 15 超）地域を通る西名阪自動車道、国道 24 号、25 号、169 号、165 号、166 号において道路被害が発生する可能性が高い。

緊急輸送道路網と生駒断層帯の液状化危険度分布図



工) 道路被害の想定 (海溝型：東南海・南海地震同時発生)

①地震動

主要な道路が通過する地域の揺れの被害の程度がいずれも震度5強程度であることから、内陸型の地震に比べて、道路に局地的・集中的な被害は生じにくいものと考えられる。なお、県南東の山間部の一部地域では、震度6弱の地域が点在することから、これらの地域を通過する国道169号、309号、425号線に被害が生じる可能性がある。また、南部では斜面崩壊等による被害が発生する可能性があり、これらの道路が寸断されると途中の地域が孤立化する。

緊急輸送道路網と東南海・南海地震同時発生の震度分布図

